

# 増え続ける社会保障費への対応

2017年10月19日  
NHKラジオ 他  
10月3日 17時30分～

日本の現在の社会保障費(医療費・介護費・年金など)は120兆円ですが2025年には150兆円位(125%)、30兆円増加すると予測されます。人口は減るのに社会保障費は増大するという現象です。  
医療費と介護費の伸びが顕著。医療費は14兆円も増え54兆円、現在より35%アップ、介護費は現状の倍の20兆円と試算されています。医療費と介護費で社会保障費増加分の80%を構成します。

高齢者が増えるに従い病気になるシニアが増え、医療費・介護費は増え続けるわけです。

要は病気になるシニアが多いから、医療費が増え、足腰が弱り動けなくなったり判断力が鈍り、自分のことを自分で賄えなくなると介護が必要になるのです。今のままでいると社会保障費は増え続けます。

今後の中長期対策として、次のような提案をします。





老若男女にかかわらず、「病気にならない健康体づくり」を国是とすることです。

そのために病気にならない生き方・食育・体育・生活習慣・社会参加・・・などの教育プログラムを幼稚園～シニアまで幅広く、学校家庭、職場で徹底的に展開することです。

平均年齢を伸ばすことより、健康寿命を延ばすことにより、医療費・介護費を適正に抑える・・・という国家目標を持つべきです。

年齢に関係なく、健康で病気にならない、医療費・介護費を使わない！ことを表彰する社会が必要です。

「病気にならない健康体を持つ、そのことはその人の勲章であり、健康は人生最大の財産である」の社会の風潮を高めることが社会保障費の増大を極力抑えることにつながります。身体は使わないと筋肉が衰え、病気になるのです。

	現在(構成比)	2025年予測(構成比) 増加率	増減(構成比)
医療費	40兆円(33%)	 54兆円(36%) 増加率 135%	+14兆円(47%)
介護	10兆円(8%)	 20兆円(13%) 増加率 200%	+10兆円(33%)
年金 他	70兆円(59%)	 76兆円(51%) 増加率 109%	+6兆円(20%)
合計	120兆円(100%)	 150兆円(100%) 増加率 125%	+30兆円(100%)

} 80%